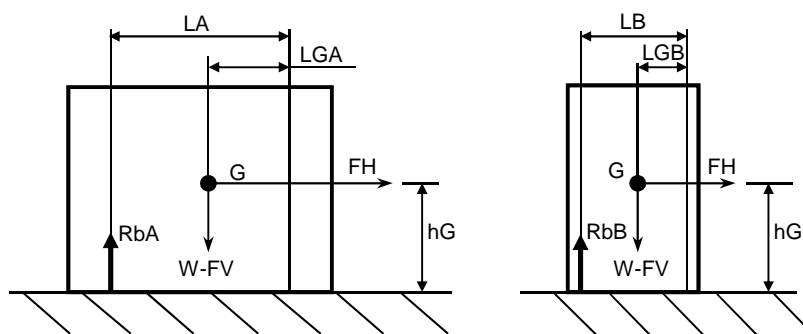


■設備用ロスナイ LF-200X-50、-60、-F60 耐震強度検討書



<計算条件>

製品質量	W = 295 kg	ボルトから重心	LGA = 850.0 mm
重心高さ	hG = 945 mm	までの距離	LGB = 275.0 mm
ボルトスパン	LA = 1700 mm	ボルトサイズ	M16
	LB = 550 mm	ボルト総本数	n = 6 本
		片側ボルト本数	nt = 3 本

各設計用標準震度、地域係数に対する計算結果				
設計用標準震度	KS	1.0	1.5	2.0
地域係数	Z	1.0	1.0	1.0
設計用水平震度	KH=KS×Z	1.0	1.5	2.0
設計用水平地震力	FH=KH×W	2.89 kN	4.34 kN	5.78 kN
設計用鉛直地震力	FV=FH/2	1.45 kN	2.17 kN	2.89 kN
アンカーボルト引抜力		・ボルトスパンA側(RbA)		
$R_b = \frac{FH \times h_G - (W \times 9.8 - FV) \times LG}{L \times n_t}$		0.29 kN	0.68 kN	1.07 kN
* L: LA又はLB、LG: LGAまたはLGB		・ボルトスパンB側(RbB)		
		1.41 kN	2.36 kN	3.31 kN
アンカーボルトせん断応力度		・ボルト断面積		
$\tau = \frac{FH}{n \cdot A}$	A: ボルト断面積 M16 1.50 cm ²	0.32 kN/cm ²	0.48 kN/cm ²	0.64 kN/cm ²
各アンカーボルトの短期許容引抜荷重に対する安全率				
あと施工金属拡張アンカーボルト(おねじ形)	短期許容引抜荷重: 9.2 kN	6.5 倍	3.9 倍	2.8 倍
コンクリート厚さ 120mm~200mm				
埋込長さ 70mm				
コンクリートの設計基準強度 1.8 kN/cm ²				
あと施工接着系アンカーボルト	短期許容引抜荷重: 12.0 kN	8.5 倍	5.1 倍	3.6 倍
コンクリート厚さ 150mm~200mm				
埋込長さ 110mm				
コンクリートの設計基準強度 1.8 kN/cm ²				
各アンカーボルトの短期許容せん断応力度に対する安全率				
ボルト(SS400)	短期許容せん断応力度: 10.1 kN/cm ²	31.4 倍	21.0 倍	15.7 倍
ステンレスボルト(A2-50)	短期許容せん断応力度: 9.12 kN/cm ²	28.4 倍	18.9 倍	14.2 倍
以上の計算結果において、上記アンカーボルト M16 はいずれも十分な強度を有する				

- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」を参照しています。
- ・本検討書は上記条件を元にしたアンカーボルトについての強度検討書であり、製品の耐震強度を保証するものではありません。
- ・基礎の隅角部、辺部に打設するアンカーボルトは、コンクリート基礎にワレ、欠け等なきよう打設位置に配慮ください。
- ・「建築設備耐震設計・施工指針 2014年度版」に遵守した施工をお願いします。

N12HBGT0136A